

IUCN Methodology Step 1~3 の項目内容

Step 1 : スクリーニング

要件	項目番号
1.1 地理的に画定された境界を持つ	1-1
1.2 保護地域ではない	1-2
2.1 統治責任が明確	2-1
2.2 管理の対象となっている	2-2
2.3 統治責任と管理の体制の持続が期待できる	2-3
3 生物多様性の重要な価値を含む可能性が高い	3
4.1 管理体制によって効果的な域内保全が期待できる	4-1
4.2 管理体制によって長期的な域内保全が期待できる	4-2

Step 2 : 地域の詳細情報

項目名	項目記号
サイト名	a
所在地（国、州、県など）	b
GIS の位置情報（利用可能な場合）	c
サイトの概要	d
面積（利用可能な場合は平方メートルまたはキロメートル）	e
ガバナンスタイプ	f
統治機関	g
統治機関の詳細（法的根拠、構造など）	h
管理機関	i
管理計画またはその他の計画ツール（利用可能な場合）	j
管理目的	k
付随する生態系の機能とサービスおよび文化的、精神的、社会経済的、その他地域に関連する価値	l
他の指定の有無	m

Step 3 : 評価・判定

要件		項目番号
大項目	小項目	
①地理的に定義された境界線があり、保護地域と重複しないこと	統治機関の合意を得た、明確に定義、記述、地図化された境界があること	①-a
	保護地域ではないこと	①-b
②統治されていること	統治機関が法的権限を有すること	②-a
	統治責任者が無期限に存続する法的裏付け等があること	②-b
	衡平に統治されていること	②-c
	統治機関が生物多様性保全成果の維持を支持していること	②-d
③管理されていること	管理されていること	③-a
	管理が持続的に行われることを意図し、設計されていること	③-b
	管理の有効性を評価するプロセスが整備されていること	③-c
	管理目的と生物多様性の域内保全が関連していること	③-d
	生物多様性の域内保全と両立しない活動が行われず、両立する活動が効果的に管理されていること	③-e
④生物多様性保全上の価値があること	生物多様性保全上の価値が高い、またはそれを達成する目的を持っていること (以下の1~11のいずれかの価値を有すること)	④-a
	1. 希少種、絶滅危惧種やその生息地、およびそれらを支える生態系	④-a-1
	2. 代表的な自然生態系	④-a-2
	3. 生態学的完全性または生態学的無傷性が高いレベルにあり、在来種が全面的に生育し、生態学的プロセスを支えていることを特徴とすること	④-a-3
	4. 自然環境において範囲が制限された種と生態系	④-a-4

要件		項目番号
大項目	小項目	
④生物多様性保全上の価値があること	5. 移動中や産卵中など、重要な種の集合場所	④-a-5
	6. 種のライフステージ、摂食、休息、脱皮、繁殖に特に重要な生態系	④-a-6
	7. 生態系の連結性に重要なサイト、またはランドスケープやシースケープ内の保全ネットワークを完成させるのに重要なサイト	④-a-7
	8. 生物多様性の域内保全に加えて、清浄な水や炭素貯蔵などの重要な生態系サービスを提供するサイト	④-a-8
	9. 生物多様性の域内保全に加えて、在来の薬用植物など、人間の伝統的利用にとって重要な種や生態系	④-a-9
	10. その他生物多様性計画で認められた生物多様性の特徴	④-a-10
	11. 生物多様性の価値が正式に認識されているサイト	④-a-11
⑤生物多様性の効果的かつ長期的な保全に貢献すること	域内保全がなされていること	⑤-a
	保全効果が長期的に生じていること	⑤-b
	十分な面積規模を有すること	⑤-c
	管理により生物多様性の周年保全がなされていること	⑤-d
	内部の脅威に対応していること	⑤-e
	外部の脅威に対応していること	⑤-f
	モニタリングがされていること	⑤-g
⑥付随する生態系の機能、サービス、その他地域に関連する価値があること	関連する生態系の機能とサービスのためのガバナンスと管理手段が、生物多様性保全の成果と対応すること	⑥-a
	文化的、精神的、社会経済的、またはその他の地域に関連する価値に対するガバナンスと管理手段が、生物多様性保全の成果と対応すること	⑥-b